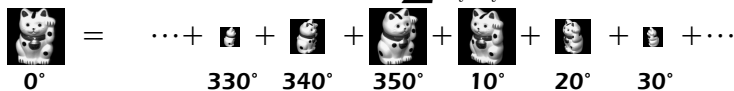


姿勢表現に必要な条件: 1自由度の例

テスト画像は固有画像の線形和 $x = \sum c_i e_i$



テスト画像は学習画像の線形和 $x = \sum b_i x_i$



学習方法: $p_i = F x_i$ 線形回帰 EbC
CCA 多様体学習

表現の連続性が必須!

$$p = F x = \sum b_i F x_i = \sum b_i p_i$$

姿勢推定値は学習画像の姿勢の線形和

表現は画像と
一対一
であることが必須!

$p_1 \neq p_2$
 $p_1 = F x_i$
 $p_2 = F x_j$
同時に
満たすことは
不可能

姿勢表現	学習
角度	$10 = F x_{10}, \dots$
sin, cos	$\begin{pmatrix} \sin(10^\circ) \\ \cos(10^\circ) \end{pmatrix} = F x_{10}, \dots$

✗ $180^\circ \approx \dots + 330^\circ + 340^\circ + 350^\circ + 10^\circ + 20^\circ + 30^\circ + \dots$
姿勢表現に適さない: 360°において不連続

○ $\begin{pmatrix} \sin(0^\circ) \\ \cos(0^\circ) \end{pmatrix} \approx \dots + \sin(330^\circ) + \sin(340^\circ) + \sin(350^\circ) + \sin(10^\circ) + \sin(20^\circ) + \sin(30^\circ) + \dots$
姿勢表現に適している: すべてにおいて連続

3自由度回転の姿勢表現: 比較

	固定角	オイラー角	回転軸・回転量	単位四元数	回転行列	球関数表現
連続性	×なし	×なし	×・○	○あり	○あり	○あり
一対一	×なし	×なし	×なし	×なし	○あり	○あり
高周波表現	×なし	×なし	×なし	×なし	×なし	○あり

ジバルロックが存在 回転量を角度で表すと× (sin, cos)で表すと○ qと-qが同じ姿勢を表す 提案手法

3自由度回転の姿勢推定に適した姿勢の表現は
回転行列もしくは球関数表現

ある姿勢の画像を
SO(3)上の関数として
直交展開する応用へ

$$x = \sum c_{l_1 l_2 l_3} Y_{l_1 l_2 l_3}(\theta'_1, \theta'_2, \theta'_3)$$

SO(3)上の球関数を用いた姿勢表現

$$Y_{l_1 l_2 l_3}(\theta_1, \theta_2, \theta_3) = \sqrt{b_{l_1 l_2 l_3}} C_{l_1}^{1, l_2}(\cos \theta_1) P_{l_2}^{l_3}(\cos \theta_2) e^{-l_3 \theta_3 i}$$

S^3 上の点の極座標 Gegenbauer倍関数 Legendre倍関数 単位円上の複素数

$l_1 \in 2\mathbb{Z}$ $0 \leq \theta_1 \leq \frac{\pi}{2}$
 $l_2, l_3 \in \mathbb{Z}$ $0 \leq \theta_2 \leq \pi$
 $l_1 \geq l_2 \geq |l_3|$ $0 \leq \theta_3 \leq 2\pi$

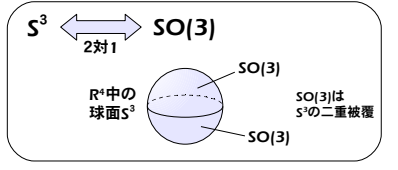
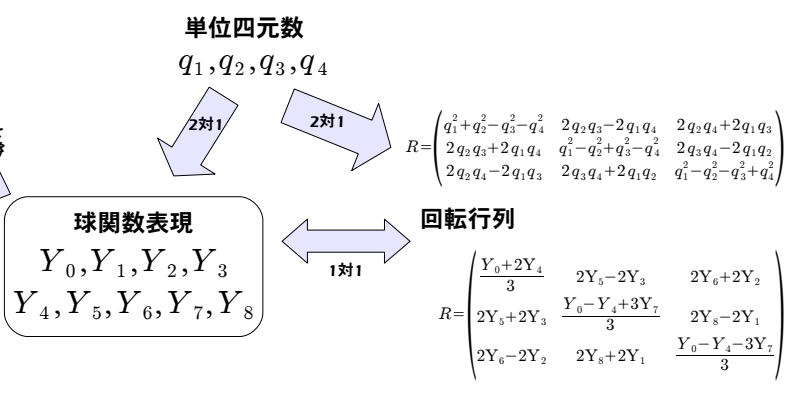
球関数: S^n 上の正規直交基底関数系
 $n=1$: 複素フーリエ基底
 $n=2$: 球面調和関数
 $n=3$: S^3 上の球関数

S^3 上の球関数のうち偶関数:
SO(3)上の球関数

最低周波数($2l_1=2$)
 $Y_{2,0,0}$
 $Y_{2,1,0}, Y_{2,1,\pm 1}$
 $Y_{2,2,0}, Y_{2,2,\pm 1}$
 $Y_{2,2,\pm 2}$

実数化係数省略 1対1

高周波数($2l_1 > 2$)は?
• R^2, R^3, \dots に対応
• 多対1



SO(3)上の球関数の応用例

- 回転行列の関数 $f(R)$ の解析 $f(R) = |x' - (Rx + t)|^2$
- 回転行列の画像 $x(R)$ の展開 $x(R) = \sum c Y(R)$